

感染症は透析患者の死因の上位を占める。この背景には、透析患者の高齢化、低栄養、免疫力低下、長期入院、長期療養施設入所などさまざまな要因が関連する。医学的のみならず社会的背景の変化も感染症増加に結びついている。

2004年、CDCは院内感染に代わり、医療関連感染（Healthcare-Associated Infection；HAI）という用語を提唱した。病院内のみでなく、長期療養施設、透析施設などでも感染症は発症しやすく、HAIという包括的概念のなかでの感染症対策が求められる時代である。とくに肺炎は、一般高齢者でも死因の上位を占めており、ワクチン接種、誤嚥予防などの対策が注目されている。易感染性の高い透析患者においては、なおいっそう肺炎予防は重要である。

感染症を防止するためには、透析施設職員全員

で臨む standard precaution が重要である。また、定期的な患者および施設内の感染症予防モニタリングが必要とされている。いったん発症したインフルエンザ、ウイルス性胃腸炎患者をどのように隔離治療するか、この点も透析施設においてはアウトブレイクを防ぐため平時からの手順認識が要求される。さらに、特殊な感染症として HIV 感染症、多剤耐性菌感染症がある。これらの感染予防では、血液に曝露されやすく集団治療室である透析室の特殊性を熟知して対応していく必要がある。

本特集においては、上記のごとく透析室での感染症対策を新しい視点からまとめた。日常診療において役立つ情報であることを期待している。

（西 慎一）

〔本号企画：秋葉 隆〕

2018年(Vol. 34)特集のご案内

- No.① 透析患者のがん対策〔特大号〕
- No.② 透析患者のリハビリテーション
— 訓練と支援
- No.③ キュアとケアをつなぐナースング
スキル
- No.④ 求められる透析液清浄化—改訂された
透析液水質基準の意味するところ
- No.⑤ 透析患者の体力と認知力を考える
— 患者と家族が満足するキュアとケア

- No.⑥ 透析室の感染症へどう対応するか
〔特大号〕
- No. 7 〔増刊号〕透析医療と合併症 キュア&
ケアガイドブック
- No. 8 透析患者の余暇とレクリエーション
- No. 9 小児腎不全—移行期医療の管理

（既刊は○）

臨牀透析® Vol.34 No.6

© 2018年 6月 10日発行

本号特価：（本体 2,800 円＋税）

年間予約購読料は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center Inc. ©2018, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）日本メディカルセンターが保有します。

・ [COPY] < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎ 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■ 広告申込所／株式会社 文芸社 〒 113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541